

グループ活動紹介

香川品質工学研究会 における活動

四国職業能力開発大学校（香川品質工学研究会 会長）
岩永 禎之

Group
Activities

1. はじめに

業界、業種を超えて会員が相互研鑽できる場を作り、地域企業の技術力向上と、若手技術者の育成を目指して、平成24年度に「香川品質工学研究会」を設立し四国職業能力開発大学校（以下「四国能開大」と記す）に事務局を設置した。本稿では、四国能開大および四国能開大が事務局を努める香川品質工学研究会（以下「研究会」と記す）が地域企業の技術力向上のために実施している、品質工学の教育と普及に関するさまざまな取り組みを報告する。

2. 主な活動

(1) 定例会

月1回企業の技術者、県の職員、技術コンサルタントと四国能開大の教員が参加して、多彩な分野の

事例を検討し、会員相互のレベルアップと品質工学の普及活動を行っている。品質工学を学び始めたばかりの初学者が多いが、産学官から集まった多様なメンバーがアットホームな雰囲気に取り組んでいる。平成25年度より企業に所属する会員も参加し、平成29年度には初めて香川県の職員が会員となった。品質工学を実際の技術課題に適用するためには事例研究を通してその考え方を正しく理解することが重要である。香川県の産学官の技術者有志で運営している当研究会においても、事例研究への取り組みを活発に行っていけるよう運営の仕方を工夫して行きたいと考えている。

(2) 品質工学セミナー

四国能開大で実施している品質工学セミナーの体系を図1に示す。平成21年頃からパラメータ設計に関するセミナーを実施してきたが、平成25年4月に香川県産業技術センターおよび香川県内企業T

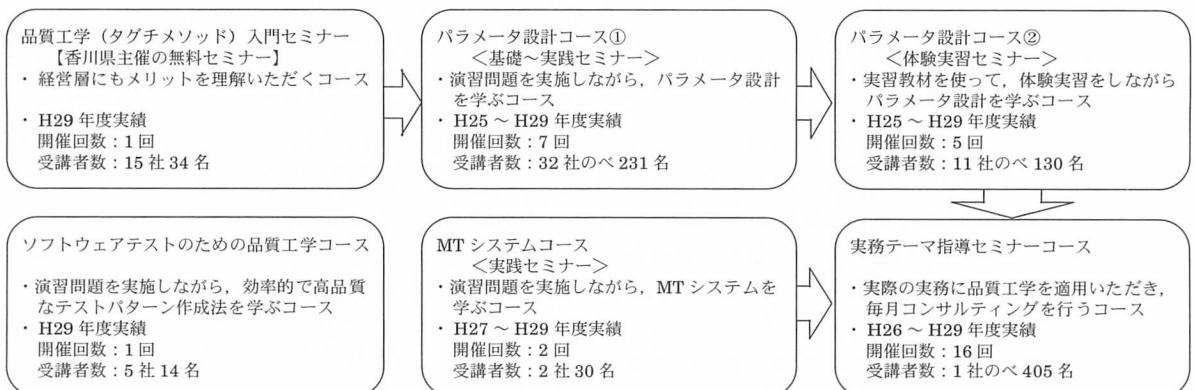


図1 品質工学のセミナー